

（あて先）
名古屋市長 広沢 一郎

個人の場合

(申込者)

住所

(フリガナ)

氏名

△△市××区☆丁目口口番▲▲号
ナゴヤタロウ
名古屋太郎

法人の場合

住所

(フリガナ)

氏名

△△市××区☆丁目口口番▲▲号
ナゴヤカブシキガイシャ
名古屋株式会社

代表取締役 名古屋 一郎

※法人の場合は主たる所在地・名称を記入してください。

別紙誓約事項（裏面のとおり）を誓約し、入札説明書及び契約条項を承知の上、下記のとおり申し込みます。

記

1 借受けを希望する物件

物件名	所在地	地目	地積
港楽荘	港区港楽一丁目1番10号	宅地	3m ²

2 使用目的 屋外広告物の設置

3 入札参加書送付先

住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 △△市××区☆丁目口口番▲▲号

氏名 名古屋 太郎 <法人の場合> 名古屋株式会社営業課 貸付人野借受人郎

電話 000-123-4567 E-mail: abc@def.co.jp

備考

- この申込書は、令和7年12月12日（金）から令和7年12月26日（金）の間に、必要書類を添付して、住宅都市局住宅部住宅管理課まで持参又は郵送（期間内必着）してください。
- 申込後の名義変更、借受希望物件の変更、申込みの取下げは一切できません。
- 必要書類の添付されていないものは受けできません。

入札申込書は、必ず両面印刷したものをお提出ください。

誓 約 事 項

申し込みにあたり、次の事項を誓約します。

1 次の各号のいずれかに該当する者ではありません。

- (1) この入札において取り扱う公有財産に関する事務に従事する名古屋市職員
- (2) 契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者
- (3) 次のア～カのいずれかに該当する事実があった後3年を経過しない者（当該事実と同一の事由により名古屋市指名停止要綱（平成15年3月5日付け15財用第5号）に基づく指名停止（以下「指名停止」という。）を受けている者を除く。）
 - ア 契約の履行に当たり、故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物件の品質若しくは数量に関して不正の行為をした者
 - イ 競争入札又はせり売りにおいて、その公正な執行を妨げたとき又は公正な価格の成立を害し、若しくは不正の利益を得るために連合した者
 - ウ 落札者が契約を締結すること又は契約者が契約を履行することを妨げた者
 - エ 地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の2第1項の規定による監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者
 - オ 正当な理由がなく契約を履行しなかった者
 - カ (3)の規定（この号を除く。）により一般競争入札に参加できることとされている者を契約の締結又は契約の履行に当たり代理人、支配人その他の使用人若しくは入札代理人として使用した者
- (4) 次のア、イに掲げる著しい経営不振の状態にある者。ただし、更生手続開始又は再生手続開始の決定後、新たに名古屋市競争入札参加資格審査申請を行い認定を受けた者を除く。
 - ア 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者
 - イ 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者
- (5) 中小企業等共同組合法（昭和24年法律第181号）、中小企業団体の組織に関する法律（昭和32年法律第185号）又は商店街振興組合法（昭和37年法律第141号）によって設立された事業共同組合であって、当該組合員が入札に参加しようとする者（官公需適格組合証明基準に適合しているとして中小企業庁の証明を受けた組合であって、特別の理由があり適當と認める場合を除く。）
- (6) 入札公告の日（令和4年12月1日）から落札決定までの間に指名停止の期間中の者
- (7) 入札公告の日（令和4年12月1日）から落札決定までの間に「名古屋市が行う契約等からの暴力団関係事業者の排除に関する合意書」（平成20年1月28日付け名古屋市長等・愛知県警察本部長締結）及び「名古屋市が行う公有財産の売払い・貸付の契約等からの暴力団関係事業者の排除に関する取扱要綱」（平成20年2月15日付け19財管第253号）に基づく排除措置を受けている者
- (8) 役員等（法人にあっては非常勤を含む役員及び支配人並びに営業所の代表者、その他の団体にあっては法人の役員等と同様の責任を有する代表者及び理事等、個人にあってはそのもの及び支店又は営業所を代表する者をいう。以下同じ。）に暴力団員等（暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定するものをいう。以下同じ。）の構成員、及び暴力団と関係を持ちながら、その組織の威力を背景として暴力的不法行為等を行う者をいう。以下同じ。）がいる者
- (9) 暴力団員等がその経営又は運営に実質的に関与している者
- (10) 役員等又は使用人が、暴力団の威力若しくは暴力団員等又は暴力団員等が経営若しくは運営に実質的に関与している法人等を利用するなどしている者
- (11) 役員等又は使用人が、暴力団若しくは暴力団員等又は暴力団員等が経営若しくは運営に実質的に関与している法人等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者
- (12) 役員等又は使用人が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
- (13) 役員等又は使用人が、前各号のいずれかに該当する者であることを知りながら、これを利用するなどしている者
- (14) 役員等又は使用人が、暴力団又は暴力団員等から、名古屋市が行う契約等において妨害（不法な行為等で、契約等履行の障害となるものをいう。）又は不当要求（金銭の給付等一定の行為を請求する権利若しくは正当な利益がないにもかかわらずこれを要求し、又はその要求の方法、態様若しくは程度が社会的に正当なものと認められないものをいう。）を受けたことを認識していたにもかかわらず、市への報告又は警察への被害届の提出を故意に又は正当な理由がなく行わなかった者
- (15) 入札公告の日（令和4年12月1日）から過去3年以内に自ら屋外広告物を設置した又は設置を仲介した実績を有しない者
- (16) 入札公告の日（令和4年12月1日）から過去3年以内に屋外広告物の設置に係る名古屋市有地の一時貸付入札に参加し、落札決定後、正当な理由なく契約を締結しなかった者

2 前項の制約内容が事実と相違することが判明したときは、当該事項に関して貴市が行う一切の措置について異議の申立てを行いません。